



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 組織情宣部  
2024年5月31日 No.775

## 社員の「生活設計」は様々だ！

### 経営側の主張



◇社員・家族の幸福の実現を目指すためには社員の視点は非常に大事だと考えている。

◇なるべく早い段階で夏季手当の水準を示すことにより、年収ベースでの見通しが立つことは社員にとって良いこと。

◇早く水準を示したほうが安心して生活できる。

**これが！社員の働きがいの向上につながる**

「年収ベース」や「早く知ること」だけでは、生活設計は立てられない！

**年間最低6ヶ月以上の安定した支給が  
社員の働きがいの向上や家族の幸福につながる！**

### ◇期末手当の支給実績 日々の生活や将来への不安！

期末手当（夏・冬ボーナス）支給実績 ※単位：月数（金額は円）、円は月数に換算								
年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
夏季手当	2.85+2万	2.91	2.91	2.91	2.4+5千	2.0	2.3	2.5+5万
年末手当	3.18	3.18	3.18	3.18	2.2	2.0	2.4+2万	2.65+5万
年間支給	6.09	6.09	6.09	6.09	4.615	4	4.76	5.45

※2022年度は賃金改定における定期昇給が2係数と生活設計の変更を余儀なくされた！

**様々な会社施策が弊害となり、社員は安心した生活設計を描けない！**

柔軟な働き方が進む一方で社員の描いてきた「生活設計」は変更を余儀なくされている。

社宅の使用、賃貸補助金などの制度変更で会社は社員に持ち家を推奨するが、会社組織の再編や統括センター化など、様々な施策の推進で、エリアを問わない転勤による住宅購入への不安や長距離通勤での疲労、単身赴任など金銭的な面以外でも社員は生活設計の変更や不安を抱えている。



**社員が将来にわたり安心して働ける生活設計の実現に向けて  
東日本ユニオンと一緒に追加支給を求める声をあげていこう！**